



令和2年11月19日
海上保安庁

日比海上保安機関長官級会合の結果概要

11月19日、伊藤裕康海上保安監は、フィリピン沿岸警備隊副長官(運用担当)とオンラインで長官級会合を開催しました。

同会合において、両者は引き続き、人材育成、海賊対策等の様々な分野で連携・協力を発展させることで一致しました。

1 開催日・場所

開催日： 令和2年11月19日(木)

場 所： 海上保安庁-フィリピン沿岸警備隊(オンライン)

2 参加者

海上保安庁	： 伊藤 裕康	海上保安監	ほか
フィリピン沿岸警備隊	： ラロヤ レオポルド	副長官(運用担当)	ほか

3 結果概要

- ・ 11月17日～19日まで行われた、海上保安庁モバイルコーポレーションチーム(MCT)によるフィリピン沿岸警備隊へのオンライン研修をはじめ、JICA 技術協力プロジェクト※¹、海上保安政策プログラム※²、JICA 課題別研修※³等、これまでの両国間の取組を評価しました。
- ・ 新型コロナウイルスによる多数の影響が出ている中でも、人材育成、海賊対策等の様々な分野で連携・協力を発展させていくことで双方一致しました。



長官級会合の様子

※1 JICA 技術協力プロジェクト

フィリピンにおける海上保安能力向上を目的として、長期専門家の派遣、海上における訓練等を行うプロジェクト。

※2 海上保安政策プログラム

アジア地域等の初級幹部を対象とし、政策研究大学院大学及び海上保安大学校にて、海上保安政策の企画・立案に係る人材を育成する1年間の修士課程。

※3 JICA 課題別研修

海上保安分野における実務者の能力向上を目的として、各国海上保安機関の職員が訪日し、講義を受講するほか、関連施設の見学を行う研修。海上犯罪取締り、救難・環境防災、海図作成の研修を実施。